平成29年度日本教育大学協会全国美術部門協議会

第 56 回大学美術教育学会　広島大会

＜最終案内＞

会期：平成29（2017）年9 月23 日（土）・24 日（日）
会場：広島大学教育学部〈東広島キャンパス〉（東広島市鏡山1-1-1）
主催：日本教育大学協会全国美術部門・大学美術教育学会
後援：広島県教育委員会・東広島市教育委員会・広島大学
企画運営：広島大会実行委員会

広島大会テーマ

『これからの美術教育で育成すべき資質・能力を考える』

目次

ごあいさつ 2
大会案内（参加費・大会日程・会場案内・アクセス） 3
広島大会　特別企画 8
日本教育大学協会全国美術部門協議会　開会式／総会／協議会 10
第56 回大学美術教育学会全国大会　開会式／総会 11
口頭発表一覧 12
ポスター発表一覧 15
学生会議 16

ごあいさつ

平成 29 年度日本教育大学協会全国美術部門協議会並びに、第 56 回大学美術教育学会を広島大学で開催いたします。口頭発表、ポスター展示による研究発表、海外研究者による特別講演並びに日米学術交流などが開催されます。関係者の皆様には様々な面からご支援いただき、広島大会実行委員会を代表いたしまして心から御礼申し上げます。

広島大会の全体テーマは、「これからの美術教育で育成すべき資質・能力を考える」です。平成 29 年 3 月 31 日に幼稚園教育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領が改訂告示されました。改訂に際しては、予測が困難な激しい変化が伴う社会や、グローバル化が進展する社会に対応するために学校教育ではどのような資質・能力が育成されるべきかが問われ、図画工作・美術科、並びに大学における教員養成では、新しい時代を見据えて、これまで以上に質的転換を図ることが求められています。転換の方向性を見定め、これからの時代をより豊かに生きる人間形成を目指して、美術教育では何ができるのか、どのような資質・能力が育成されるべきなのか、どのような内容や教育方法が望ましいのかなどを改めて問い直し、研究交流を通して学会員相互の対話が深まる大会としたいと思います。

大会特別企画のテーマは「これからの美術教育の在り方をグローバルに考える―日米交流を通して」としました。これからの時代に必要とされる図画工作・美術科のあるべき姿を明確化していくために、育成すべき資質・能力と合わせて学習指導法及び評価の在り方についても具体的に検討していくことが必要です。これについてグローバルな視野で考えていくために、全米美術教育学会（National Art Education Association）の前会長であるロバート・セイボル博士による特別講演、及び、文部科学大臣優秀教職員賞受賞者である青山寿重氏（広島県尾道市立山波小学校教諭）、美術科教育学会代表理事である水島尚喜氏（聖心女子大学教授）、本学会理事長である小野康男氏（横浜国立大学教授）との日米座談会を企画しています。セイボル博士には、米国の美術教育のナショナル・スタンダードが目指す教育改革のヴィジョンについて 21 世紀型の資質・能力や評価を中心にご報告いただき、日米座談会を通して、参加者の皆様ともに美術教育の現状と課題を共有し、議論がグローバルな次元で深められることを期待しています。

学習指導要領の改訂を契機に、一つの転換期を迎えるわが国の学校教育とその基盤を支える教員養成を担う大学教育で取り組むべき事項について、ともに思考し行動する機会を、この大会が提供できることを祈念して止みません。

広島大会実行委員長　菅 村　亨

大 会 案 内

平成 29 年度
日本教育大学協会 全国美術部門協議会
第 56 回
大学美術教育学会

2017 年 9月 23 日（土）・24 日（日）　広島大会

参　加　費

会員・一般　事前申込：4,000 円　当日申込：5,000 円
院生・学生　事前申込：2,000 円　当日申込：3,000 円　※現職教員含む。

懇親会
会員・一般　事前申込：5,000 円　当日申込：6,000 円
院生・学生　事前申込：3,000 円　当日申込：4,000 円　※現職教員含む。
会場：広島大学生協西２食堂　※第１日の研究発表後の懇親会場への移動は各自でお願いします。

お弁当
会員・一般・院生・学生　事前申込：1,000 円（１食あたり）

問い合わせ先

■オンライン登録システムに関する問い合わせ
中西印刷　大会システムサポートデスク（参加申込・発表申込・概要集）
Tel: 075-415-3661　E-mail: uaesj56@nacos.com

■大会に関する問い合わせ
教大協全国美術部門・大学美術教育学会広島大会実行委員会
大会運営委員　三根 和浪　E-mail: kmine @hiroshima-u.ac.jp

大会日程

【大会前日の諸会議】 9月22日(金)　各委員会、役員会

広島大学教育学部〈東広島キャンパス〉

12:30 ～ 13:00	受付（諸会議の 30分前から受付を実施します。）　教育学部正面玄関
13:00 ～ 13:30	拡大総務局会議【正副理事長・正副代表・総務局委員】　会場 第３・4会議室
13:30 ～ 14:20	全造連大学委員会【部門委員会委員】　会場 L107 教室 ※全国大学造形美術教育連絡協議会
14:20 ～ 15:20 審議延長 ～ 17:00 迄	全国学校美術教育支援委員会【部門委員会委員】　会場 L108 教室 国際交流委員会【学会委員会委員】　会場 L109 教室 学会誌委員会【学会委員会委員】　会場 L206 教室 全美協役員会【私学】　会場 L107 教室
15:10 ～ 15:30	受付【部門・学会共通】　教育学部正面玄関
15:30 ～ 16:30	拡大理事会【学会理事役員会＋部門委員役員（共通審議事項を含む）】　会場 第３・4会議室
16:30 ～ 17:10	美術部門協議役員会【部門委員役員】　会場 第３・4会議室 全美教総会　会場 L107 教室

【第１日】 9月23日（土）

講義棟【広島大学教育学部〈東広島キャンパス〉】

09:00 ～	部門・学会受付	教育学部正面玄関
09:30 ～ 10:00	日本教育大学協会全国美術部門協議会　開会式 第 56 回大学美術教育学会広島大会　　開会式	K 棟 2F　K201 教室
10:00 ～ 11:25	日本教育大学協会全国美術部門　協議会 （日本教育大学協会全国美術部門・大学美術教育学会合同）	K 棟 2F　K201 教室
11:40 ～ 12:10	口頭発表①	L 棟 1F　L102、L104 教室 L 棟 2F　L204、L206 教室
12:10 ～ 13:10	昼休み お弁当の申込をされた方は、L 棟2F「弁当」受け渡し場所（企業出店ブース横）までお越し下さい。	
13:10 ～ 14:40	口頭発表②－④	L 棟 1F　L102、L104 教室 L 棟 2F　L204、L206 教室
15:00 ～ 17:30	大会特別企画 「これからの美術教育の在り方をグローバルに考える ―日米交流を通して」 ・特別講演 （全米美術教育学会前会長 ロバート･セイボル博士） ・座談会	K 棟 2F　K201 教室
17:30 ～	懇親会場へ移動（徒歩等）	
18:00 ～ 20:00	懇親会	広島大学生協西２食堂

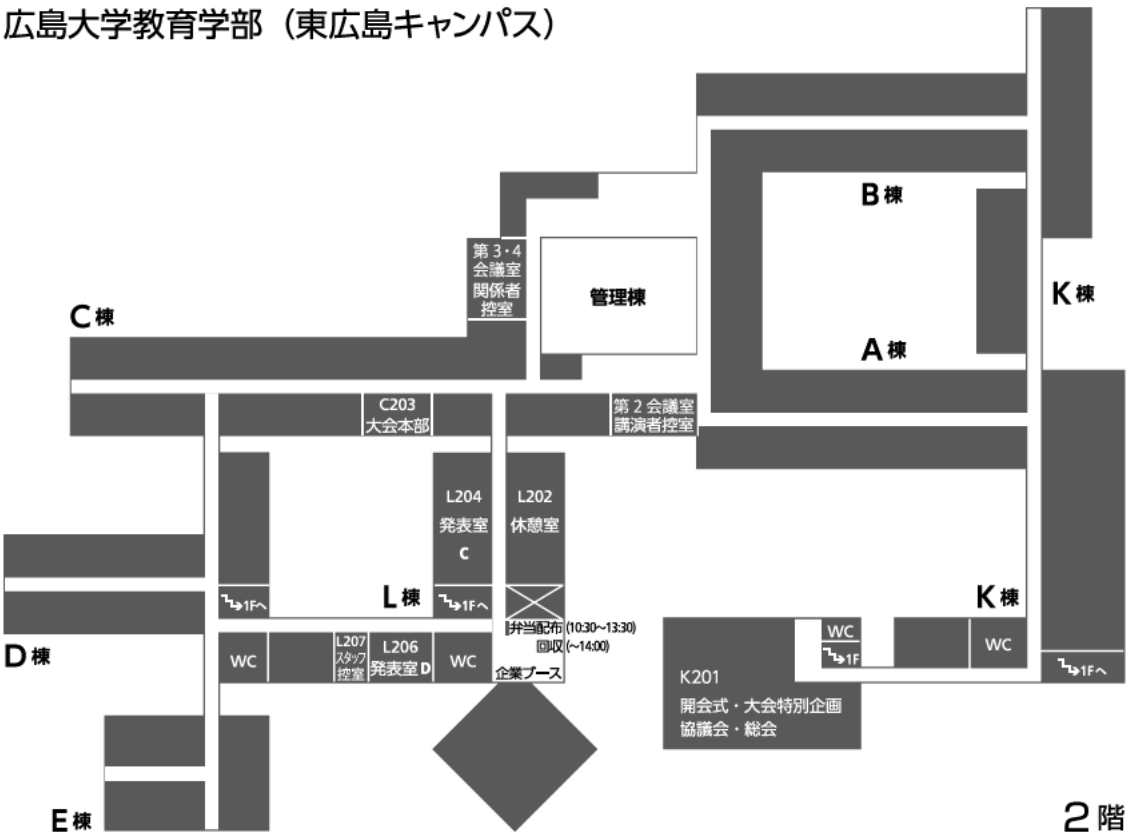
【第２日】 9月24日（日）

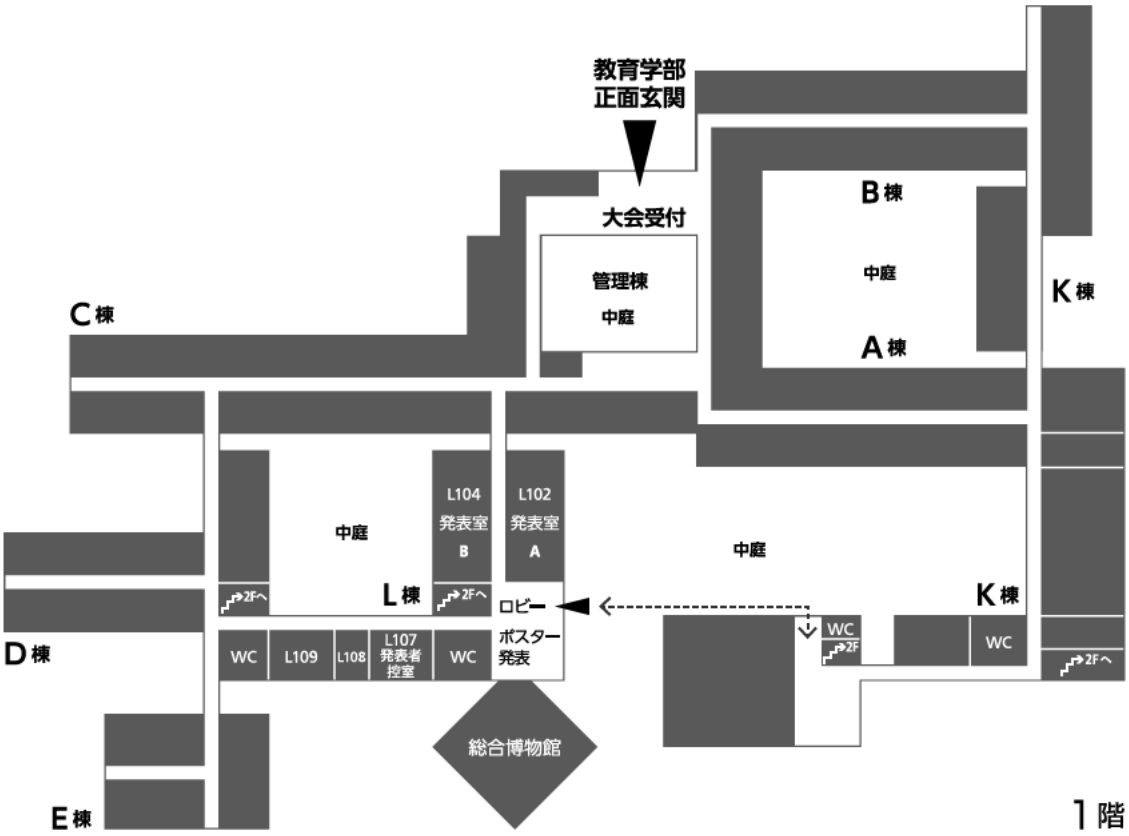
講義棟【広島大学教育学部〈東広島キャンパス〉】

09:00 ～	部門・学会受付	教育学部正面玄関
9:30 ～ 12:00	口頭発表⑤－⑨	L 棟 1F　L102、L104 教室 L 棟 2F　L204 教室
	学生会議	L 棟 2F　L206 教室　　（注）
12:00 ～ 13:00	昼休み お弁当の申込をされた方は、L 棟2F「弁当」受け渡し場所（企業出店ブース横）までお越し下さい。	
12:30 ～ 13:30	ポスター発表	L 棟 1F　L 棟1F ロビー
13:00 ～ 15:00	口頭発表⑩－⑬	L 棟 1F　L102、L104 教室 L 棟 2F　L204、L206 教室
15:10 ～ 15:40	日本教育大学協会全国美術部門・大学美術教育学会総会	K 棟 2F　K201 教室
15:50 ～	引き継ぎ（奈良教育大学）	C 棟 2F　C203 教室

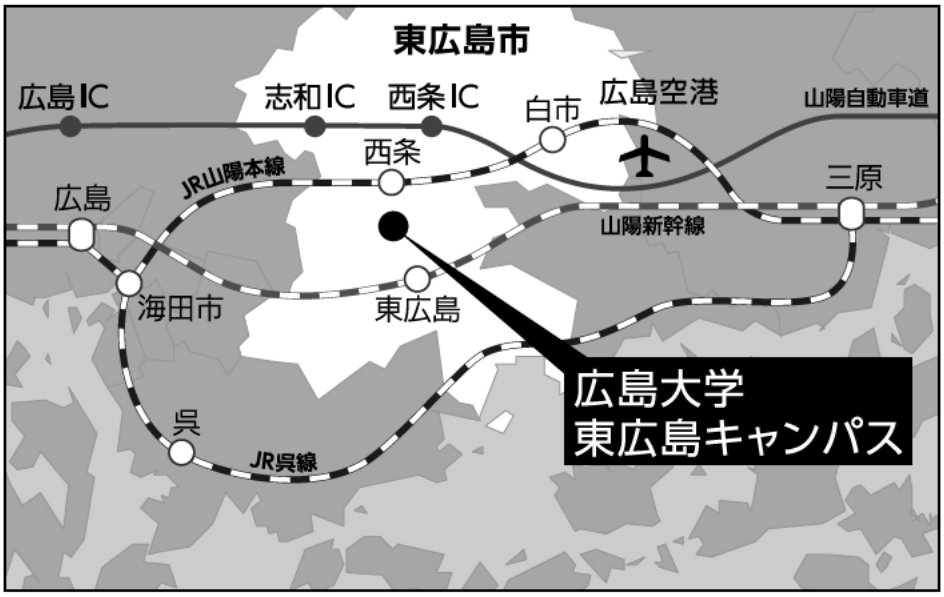
※口頭発表用の PC その他の必要機材は各自でご持参ください。プロジェクターのコネクターは RGB のみ対応です。
※食堂・売店は営業しておりません。近隣の飲食施設、コンビニ等は限られています。
※懇親会会場は学内の西２食堂（教育学部より徒歩８分）です。P.7 の地図をご参照ください。
※第２日のポスター発表は教育学部 L 棟 1F ロビーにて行います。研究発表を 12:30 ～ 13:30 の間に行います。
（注）「第一次案内」より教室が変更になりました。

広島大学教育学部（東広島キャンパス）





アクセス



新幹線

JR東広島駅 → 広島大学教育学部
タクシー 約15分
約2000円
（大会期間中の土日祝日は路線バスは運行していません）

飛行機

広島空港 → JR白市駅
バス 約15分
390円

JR白市駅 → JR西条駅
JR約10分
200円

JR西条駅 → 広大中央口
バス 約20分
290円
（タクシー約2000円）

在来線

JR広島駅 → JR西条駅
JR山陽本線 約35分
580円

JR西条駅 → 広大中央口
バス 約20分
290円
（タクシー約2000円）

高速バス

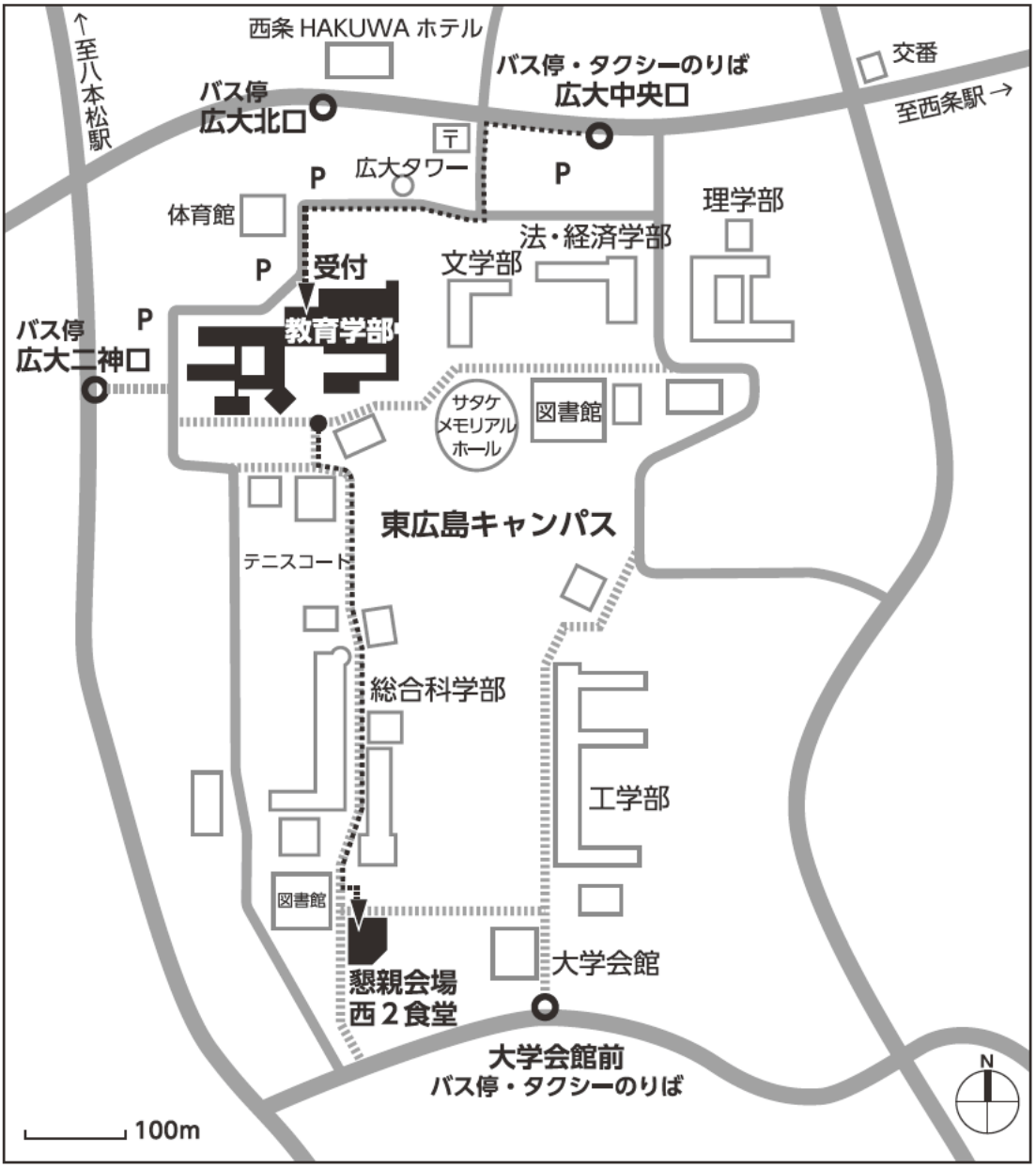
広島バスセンター → 広大中央口
グリーンフェニックス 約50分
片道870円　往復1490円

マイカー

広島方面 → 志和IC
山陽自動車道

岡山方面 → 西条IC
山陽自動車道

→ 広島大学
構内の駐車場利用可



■広島大学エリア　定期バス路線【休日（土・日・祝）】

● JR西条駅⇔広島大学

【行き】

西条駅→広島大学行
西条駅バス停③のりば
6
7 48
8 05 30 40 55
9 15 18 30
10 02 33 48
11 10 35
12 03 17 48
13 17 48
14 17 47
15 17 48
16 00 30
17 00 15 50
18 05 17 55
19 18
20 10
21 05
22 02

【帰り】

広島大学→西条駅行	広島大学→西条駅行
広大中央口バス停	大学会館前バス停
6	6
7	7
8 17 42 52	8 20 45 55
9 07 27 42	9 10 30 45
10 14 45	10 17 48
11 00 22 47	11 03 25 50
12 15 29	12 18 32
13 00 29	13 03 32
14 00 29 59	14 03 32
15 29	15 02 32
16 00 12 20 42	16 03 15 23 45
17 12 27	17 15 30
18 02 17 29	18 05 20 32
19 07 30	19 10 33
20 22	20 25
21 17	21 20
22	22

● グリーン・フェニックス（広島バスセンター⇔広島大学）

【行き】

広島バスセンター→広島大学方面
広島バスセンター（1番乗り場）
6
7 13
8 25
9 15
10 20
11
12 40
13
14 20
15 20
16 05
17 15
18 00
19 30
20 30
21
22

【帰り】

広島大学→広島バスセンター行	広島大学→広島バスセンター行
広大中央口バス停	大学会館前バス停
6	6
7	7
8 30	8 33
9 40	9 43
10 50	10 53
11 50	11 53
12 30	12 33
13 40	13 43
14 30	14 33
15	15
16 30	16 33
17 40	17 43
18	18
19 00 50	19 03 53
20 50	20 53
21	21
22	22

「広島大学エリア　定期バス路線　お出かけ時刻表」より引用：平成29年3月4日改正　運行バス会社：JRバス、芸陽バス

■タクシー　大学タクシー：082-425-5000、西条タクシー：0120-212526 または 082-423-2525、東広島タクシー：0120-33-1260

広島大会　特別企画

これからの美術教育の在り方をグローバルに考える―日米交流を通して

開催日時：2017 年 9 月23 日（第 1 日）　15:00～17:30

会　　場：広島大学教育学部　講義棟 K 棟 2F K201

第一部：特別講演

ロバート・セイボル博士（Dr. Robert Sabol）
（全米美術教育学会（National Art Education Association）前会長）

演 題

全米視覚芸術スタンダードの美術学習評価と礎石となるアセスメント・モデル
（Assessing Learning in Art with the American National Visual Arts Standards and Model Cornerstone Assessments）

第二部：座談会

青山寿重（広島県尾道市立山波小学校教諭・文部科学大臣優秀教職員賞受賞者）
水島尚喜（美術科教育学会代表理事・聖心女子大学教授）
小野康男（大学美術教育学会理事長・横浜国立大学教授）
司会者：三根和浪（広島大学大学院教育学研究科准教授）

特別企画の第一部では、アメリカ合衆国から全米美術教育学会の前会長であるロバート・セイボル博士を招き、2014 年に公表された全米視覚芸術スタンダードが目指す教育の質的転換とスタンダードが学校教育に及ぼしている影響について講演していただきます。新しいスタンダードの特徴の一つとして、就園前から高等学校までを通して身につけるべき知識・技能・能力の内容と合わせて、アセスメント・モデルが提示されることが挙げられます。セイボル博士は、スタンダードの執筆者の一人であり、アセスメント・モデル開発の委員長を務めています。創造性、批判的思考・ 問題解決、コミュニケーション、協働のような 21 世紀型スキルと関連する資質や能力が美術教育ではどのように定義され、どのような方法で測られるのかを中心にご報告いただきます。

特別企画の第二部では、日本側から広島県尾道市立山波小学校教諭の青山寿重氏（文部科学大臣優秀教職員賞受賞者）、美術科教育学会代表理事の水島尚喜氏（聖心女子大学教授）、日本教育大学協会全国美術部門代表・大学美術教育学会理事長の小野康男氏（横浜国立大学教授）にご登壇いただき、セイボル博士による報告内容、学習指導要領の改訂、学校の実状を踏まえて、美術教育で育むべき資質や能力をテーマにディスカッションしていただきます。日本とアメリカにおける美術教育の現状と課題を理論レベル及び実践レベルで共有しつつ、これからの美術教育で育成すべき人間像と学習指導の在り方について議論を深めたいと思います。

講師紹介

ロバート・セイボル
(Robert Sabol)

米国インディアナ州パデュー大学大学院芸術学科・芸術学講座教授。米国インディアナ大学大学院教育学研究科博士課程修了、博士号（Ph.D.）取得。23 年間に及ぶ小学校での教職経験、及び、インディアナ州教育省やアメリカ合衆国教育省などでの行政職務経験がある。全米美術教育学会（National Art Education Association）前会長。主な著書には、『美術教育の専門職能力開発：美術教育者のニーズ、問題、関心事』（2006 年、NAEA 出版）、『落ちこぼれゼロ運動：美術教育への影響』（2010 年、NAEA 出版）などがある。

登壇者紹介

青山寿重

広島県尾道市立山波小学校教諭。広島県公立小学校での教職員歴 35 年。第 48 回広島県造形教育研究大会（尾道大会／尾道市立瀬戸田小学校）にて図画工作科カリキュラム開発研究主任を担当。平成 24 年度広島県優秀教職員賞受賞。平成 25 年度文部科学大臣優秀教職員賞受賞。現在、米国インディアナ州の小学校との国際交流を通して ESD と関連させた図画工作科の授業開発を進めている。

水島尚喜

聖心女子大学教授。東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程修了。文部科学省学習指導要領（「美術」及び「図画工作」）作成協力者。元全国大学造形美術教育教員養成協議会会長。平成 28 年度より美術科教育学会代表理事。ローハンプトン大学（英）、ボローニャ大学（伊）などで客員教授を務める。共編著に『図画工作・美術教育研究　第三版』（2010 年、教育出版）など、多数。「子ども」と「アート」のミッシングリンクを可視化するべく美術教育学研究を行なっている。

小野康男

横浜国立大学教育学部教授。神戸大学博士課程文化学研究科単位取得満期退学。平成 28 年度より日本教育大学協会全国美術部門代表・大学美術教育学会理事長を務める。精神分析理論を取り入れた身体論による美術研究を主とし、現在はイメージの人類学に関心をもつ。共訳書に、ジャン＝フランソワ・リオタール『文の抗争』（1989 年、法政大学出版局）、リュック・フェリー『ホモ・エステティクス』（2001 年、法政大学出版局）、ジョルジュ・ディディ＝ユベルマン『時間の前で』（2012 年、法政大学出版局）などがある。

平成29年度　日本教育大学協会全国美術部門協議会

開会式／協議会／総会

日　時：2017年9月23日（土）

会　場：講義棟2F　K201教室

〈開会式〉 9:30～9:45

司会進行：三根 和浪（広島大学）

1．開会挨拶　　美術部門代表　小野 康男（横浜国立大学）
2．開催大学代表挨拶　　大会実行委員長　菅村 亨（広島大学）
3．閉会挨拶　　美術部門副代表　八重樫 良二（北海道教育大学）

〈協議会〉 10:00～11:25

テーマ　教職課程コアカリキュラムからみる図工・美術科教員養成の課題と展望

パネリスト：小澤 基弘（埼玉大学）　佐藤 賢司（大阪教育大学）
神野 真吾（千葉大学）　西村 德行（東京学芸大学）

コーディネーター：喜多村 徹雄（群馬大学）

日　時：2017年9月24日（日）

会　場：講義棟2F K201教室

〈総　会〉 15:10～15:25

司会進行：三根 和浪（広島大学）

1．挨　拶　　部門代表　小野 康男（横浜国立大学）
2．議長団選出（議長候補：北海道・東北ブロック・副議長候補：近畿・四国ブロック）
3．議　事

【報告事項】

（1）平成28年度事業報告	総務局長	新野 貴則（山梨大学）
（2）平成28年決算報告	部門部長	芳賀 正之（静岡大学）
（3）平成28年度監査報告	監　　事	村松 俊夫（山梨大学）
		竹井 史（愛知教育大学）
（4）各地区会規程の改正	部門部長	喜多村 徹雄（群馬大学）
（5）学校美術教育支援委員会報告	委 員 長	佐藤 昌彦（北海道教育大学）
（6）その他		

【協議事項】

（1）平成29年度役員・各種委員等（案）	部門代表	小野 康男（横浜国立大学）
（2）平成30年度役員（案）	部門代表	小野 康男（横浜国立大学）
（3）平成29年度事業計画（案）	総務局長	新野 貴則（山梨大学）
（4）平成29年度予算（案）	部門部長	芳賀 正之（静岡大学）
（5）平成30年度 協議会の開催大学（奈良大会）		宇田 秀士（奈良教育大学）
（6）その他		

4．議長団解任
5．閉会の辞　　美術部門副代表　新関 伸也（滋賀大学）

平成29年度　第56回大学美術教育学会全国大会

開会式／総会

日　時：2017年9月23日（土）

会　場：講義棟2F　K201教室

〈開会式〉 9:45～10:00

司会進行：三根 和浪（広島大学）

1．開会挨拶　　学会理事長　　小野 康男（横浜国立大学）

2．開催大学代表挨拶　　大会実行委員長　菅村 亨（広島大学）

3．閉会挨拶　　学会副理事長　　佐藤 哲夫（新潟大学）

日　時：2017年9月24日（日）

会　場：講義棟2F　K201教室

〈総　会〉 15:25～15:40

司会進行：三根 和浪（広島大学）

1．挨　拶　　学会理事長　小野 康男（横浜国立大学）

2．議長団選出（議長候補：近畿・四国ブロック・副議長候補：北海道・東北ブロック）

3．議　事

【報告事項】

（1）平成28年度事業報告　　総務局長　　新野 貴則（山梨大学）
（2）平成28年決算報告　　部門部長　　芳賀 正之（静岡大学）
（3）平成28年度監査報告　　監　　事　　村松 俊夫（山梨大学）
　　竹井 史（愛知教育大学）
（4）学会誌委員会報告　　委 員 長　　佐藤 賢司（大阪教育大学）
（5）国際交流委員会報告　　委 員 長　　鈴木 幹雄（関西福祉大学）
（6）その他

【協議事項】

（1）平成29年度役員・各種委員等（案）　　学会理事長　　小野 康男（横浜国立大学）
（2）平成30年度役員（案）　　学会理事長　　小野 康男（横浜国立大学）
（3）平成29年度事業計画（案）　　総務局長　　新野 貴則（山梨大学）
（4）平成29年度予算（案）　　学会部長　　芳賀 正之（静岡大学）
（5）学会会則等の改正（案）　　学会部長　　芳賀 正之（静岡大学）
（6）平成30年度 協議会の開催大学（奈良大会）　　宇田 秀士（奈良教育大学）
（7）その他

4．議長団解任

5．閉会の辞　　学会副理事長　　佐藤 賢司（大阪教育大学）

口頭発表一覧

■研究発表に際しての注意
1．発表の準備は，発表者控え室（講義棟 1F の L107 教室）をご利用ください。
2．研究発表の進行は次の通りです。（一鈴：15 分，二鈴：20 分，質疑応答：5 分）
3．特に会場に発表用の PC は準備していませんので発表者は，RGB 端子のある PC を持参するか，あるいは実物投影機を持参・使用してください。
4．プロジェクターへの接続は，RGB 対応が基本となります。Mac は RGB 変換アダプタが必要です（HDMI に対応していません）。また，音声出力が必要な方は各自ポータブルスピーカー等をご持参下さい。

【第 1 日】

	発表室 A （L102 教室）	発表室 B （L104 教室）	発表室 C （L204 教室）	発表室 D （L206 教室）
11:40 ① 12:05	指導者の発話による，子どもの活動の変化はあるのか 香月 欣浩（四條畷学園短期大学）	図画工作科の鑑賞教育における想像力を育む学習指導の開発 ー探究的な対話と模写を取り入れた絵画鑑賞を通してー 國清 あやか（広島都市学園大学子ども教育学部子ども教育学科）	美術と作業学習と地場産業 ～窯業産地と特別支援学校～ 永井 弘人（愛知県立小牧特別支援学校）	図画工作科におけるタブレット端末を用いた情報活用能力の育成に関する研究 阿比留 久美（広島大学大学院）
12:10 13:10	昼休み（12:10 ～ 13:10）			
13:10 ② 13:35	インクルーシブ教育における美術教育についての考察 南雲 まき（金沢学院大学）	「より良い鑑賞題材設定のあり方とは何か」の根拠を求めて ー主題と絵画理念の往還的感受という視点からー 立原 慶一（宮城教育大学）	表現行為における「ミメーシス」に関する研究 I ーワークショップにおける関係性から生起する「ミメーシス」についての考察 前沢 知子（横浜国立大学大学院）	図画工作科における子供の模倣の研究 ー活動初期の制作に着目してー 浦崎 渉（富山大学大学院教職実践開発研究科　教職実践開発専攻）
13:40 ③ 14:05	チゼック授業におけるイメージ生成の特徴 山田 一美（東京学芸大学）	藤田嗣治の戦争画《アッツ島玉砕の図》を主軸に据えた鑑賞授業 小林 久美子（兵庫教育大学大学院連合学校博士課程 兵庫県宝塚市立山手台中学校）	社会と学校の連携で取り組む美術教育の一考察 ー横浜山手中華学校における社会との連携による実践を通してー 張恬源（福井大学大学院教育学研究科学校教育専攻 M2）	倉田三郎・熊本高工がとらえた図画工作科の課題 山口 喜雄（元 宇都宮大学）
14:10 ④ 14:35	ロシア法／method とスロイド system ―いま，何故，チャールズ A・ベネット著作の抄訳を試み出版するのか？― 佐藤 昌彦（北海道教育大学） 宮脇 理（元・筑波大学）	美術作品を活用した表現活動のあり方について ー美術批評の能力を培う教育実践ー 山田 唯仁（岐阜大学大学院教育学研究科）	大分県における，アートから始まる「地域の色」をテーマとした教科融合型学習プログラムの開発（1 年次） 藤井 康子（大分大学教育学部） 木村 典之（大分県立美術館学芸企画課企画監（大分県教育センター・大分県教育委員会指導主事併任））	子どもの造形活動による空間把握の特性 蝦名 敦子（弘前大学教育学部）

【第２日】

	発表室 A （L102 教室）	発表室 B （L104 教室）	発表室 C （L204 教室）	発表室 D （L206 教室）
9:30 ⑤ 9:55	子供の考える力，表現する力を育て，自己肯定感を培うための教師のかかわりと図画工作科の研修の在り方に関する一考察 青木 善治（新潟県南魚沼市立上関小学校）	鑑賞表現一体化：直接対決の美術　鑑賞から表現へ 原田 美穂子（横浜国立大学環境情報学府イノベーションマネジメント専攻後期）	サイト・スペシフィックな立体造形ワークショップの実践―キッズ・ミート・アートの事例― 村上 佑介（大阪城南女子短期大学）	学生会議
10:00 ⑥ 10:25	教員養成課程における視聴覚教材の利用―『絵を描く子どもたち』 山下 暁子（和光大学）	ベラスケス「アラクネの寓話（織女たち）（1657 年頃）」の読解的鑑賞の提案 一神話に則る絵の学びを基盤とした西洋理解の一試行一 岡田 匡史（信州大学）	社会の多様な現場でのコミュニケーションを伴う造形表現活動の展開：ゴブリンプロジェクトにおける〈活用事物〉の分析 小中 大地（筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程芸術専攻） 田中 佐代子（筑波大学芸術系）	
10:30 ⑦ 10:55	「『子どもの造形』観」に関する考察 一初等教員養成課程における取組を基に一 井ノ口 和子（共栄大学）	現代における美術鑑賞の課題とレヴィナス 佐藤 哲夫（新潟大学）	地域社会との造形的な連なりから拓かれる対話の場と美術科教育における学修の可能性一小大（院）連携プログラムⅠ『一新の夢獅子』〔大学院からのアプローチ〕を中心に一 赤木 恭子（熊本大学）	
11:00 ⑧ 11:25	子どもの造形的な活動の論理を保障するための教師のありように関する研究 ～モデルによる「可能性」に係る「読み」の実践を通して～ 秋山 敏行（愛媛大学）	マンガ研究と美術教育との接続の試み――こうの史代のマンガを具体例に 竹内 美帆（福岡女子短期大学非常勤講師）	福祉・大学・行政の連携による美術教育の潜在力と可能性について 一北海道アールブリュットを事例として 三橋 純予（北海道教育大学岩見沢校）	
11:30 ⑨ 11:55	下川手集落の『学術技倆法』に見る子どもの戦争表現 ～ポーランドとの比較を通して～ 柳沼 宏寿（新潟大学）	鑑賞活動における言語と身体的経験の関わりについての研究 一国語教師村上通哉による東山魁夷と中学生との交流を重ねた教育実践に着目して一 西丸 純子（兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科）	曖昧さを生きる：Arts-Centred Learning に見る芸術と教育の新しい関係 富田 俊明（北海道教育大学釧路校，北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 博士後期課程） 梅原 恭平（北海道教育大学大学院教育学研究科大学院生） 堀井 脩平（北海道教育大学大学院教育学研究科大学院生）	
12:00 12:30 13:00	昼休み（12:00 ～ 13:00） ポスター発表（12:30 ～ 13:30） 会場：L 棟 1F ロビー			

13:00 ⑩ 13:25	塑造の最終素材に関する実験的研究ーFRPに代わる新素材の提案 岡野 茜（東京学芸大学）	造形表現の質的転換期としての思春期の美術教育 新井 哲夫（明治学院大学）	苦手意識を抱かせない教育コンテンツの研究 ー図画工作・美術に対する苦手意識解消の試みの成果ー 降籏 孝（山形大学）	小学校における絵画指導の改善に向けて 隅 敦（富山大学人間発達科学部）
13:30 ⑪ 13:55	デザイン教育におけるレタリングと読みやすさ 記憶の中の文字認識とあいまいさ 山本 政幸（岐阜大学）	彫刻家佐藤忠良の教育 ーインタビューによる質的検討の試み１造形指導の意図とその授受ー 齋藤 亜紀（常磐大学人間科学部教育学科・茗渓学園中学校非常勤講師）	大学生の原風景イメージの諸相 ー個に即した表象のための調査とその可能性ー 髙橋 文子（東京未来大学）	北陸の気候に適した支持体の研究Ⅱ 横江 昌人（小松市立高等学校・金沢美術工芸大学 非常勤）
14:00 ⑫ 14:25	写真のカラー化で世界を捉える映像メディア 佐原 理（徳島大学大学院総合科学教育部）	美術科教科書『少年の美術』に関する研究 ー教科書の特徴と編集者の意図を中心にー 池田 育美（広島大学大学院教育学研究科造形芸術教育学専修）	図画工作科における共同制作の可能性 ー過去 70 年間の教科書題材を俯瞰してー 松井 素子（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科）	香雪美術館所蔵『二河白道図』に関する一考察 ー図様と構図からみる主題表現についてー 深町 聡美
14:30 ⑬ 14:55	線材を用いた、空間を表現する活動の有効性について ー中高生の造形活動を通してー 岩本 航介（福岡教育大学大学院教科教育創造コース美術教育）	「学校参与アーティスト」から考察する芸術と教育の関係性 ーフランスにおける実践を手がかりにー 小笠原 文（広島文化学園大学学芸学部子ども学科）	感性を育む探究的な活動を取り入れた図画工作科の題材開発 ー和菓子作りを題材としてー 藤田 裕也（広島大学大学院）	鳥獣人物戯画から学ぶ、墨線の活用法 川里 智子（福岡教育大学）

ポスター発表一覧

No.	発　表　題　目	発　表　者
1	レイモン・ペイネについて ー作家のメッセージと作品の雰囲気の分析ー	守本 智美　（神戸女子大学）
2	図画工作科における「マンガ」の教育的活用に関する研究	大西 宏和　（広島大学大学院教育学研究科）
3	海外アーティストと行うデザインシンキングとアートプロジェクトの研究 ー「しろくま図工室」の実践からー	大成 哲雄　（聖徳大学）
4	学びの質向上を目指した造形表現テキスト「子どもの造形表現～ワークシートで学ぶ～」の効果と今後の課題	北沢 昌代　（聖徳大学短期大学部） 畠山 智宏　（清和大学短期大学部） 中村 光絵　（昭和学院短期大学）
5	タイミングの可視化 ー視覚を閉ざした状況での粘土造形ワークショップの実践を通して	寺島 知春　（東京学芸大学大学院） 林 ももこ　（東京学芸大学大学院） 齋藤 真智子（東京学芸大学大学院） 楠原 竜也　（東京学芸大学大学院）
6	図画工作・美術科におけるタブレット端末の活用	加藤 司　（岐阜大学大学院教育学研究科） 辻 泰秀　（岐阜大学） 山田 唯仁　（岐阜大学大学院教育学研究科）
7	放課後等を活用した子どもの造形活動支援 ー大学と美術館による「ヨリ・ミチ図工室」の試行ー	五十嵐 史帆（上越教育大学） 伊藤 舞実　（上越教育大学大学院）
8	描画活動における幼児の在りように関する一考察	小室 明久　（東京学芸大学大学院 教育学研究科）
9	小学校における ICT 機器を利用した鑑賞活動の展開に関する研究	淺野 卓司　（桜花学園大学）
10	図画工作科における社会や生活とのつながりを意識した授業カリキュラム開発 ー教科及び地域連携に焦点をあてて一	工藤 麻耶　（静岡大学教育学研究科） 髙橋 智子　（静岡大学）
11	地域の美術に関するアートゲームの開発	武田 信吾　（鳥取大学地域学部） 筒井 宏樹　（鳥取大学地域学部）

大学美術教育学会 学生会議 2017

美術は何のためにあるのか

美術と社会のつながりから考える

今、私たちは激動の時代を迎えております。社会情勢、自然環境は日々変動し、教育の価値が問われ、美術教育を取り巻く現状も決して易しいものではありません。そのような状況の中、今後の教育界を担う学生も一人ひとりが問題意識を持ち、積極的に意見交換をしていくべきではないでしょうか。大学美術教育学会広島大会内で開催いたします学生会議 2017 では、各大学での実践を踏まえ「美術はなんのためにあるのか？ ー美術と社会のつながりから考えるー」というテーマのもと、今後の美術教育について議論を交わしたいと存じます。この度の広島大会で、学生会議は 8 回目の開催となります。実践発表を行う岐阜大学、武蔵野美術大学、東京学芸大学の他、多くの大学、学生を巻き込んだオープンな会議にすべく、当日はご自由にご参加・ご来観いただけるようになっております。質疑応答やディスカッションでの皆様のご意見を、心よりお待ち申し上げます。

| 参 加 案 内 |

日　時　　**2017年9月24日（日）　9時30分～11時45分**

場　所　　**広島大学教育学部**（東広島キャンパス）**L206教室**

参加費　　**学生・院生：【事前申し込み】2000 円，【当日】3000 円**

※学生会議へのご参加・ご来観は無料となりますが、大会への参加費として当日受付にて上記の金額のお支払いが必要となります。

主　催　　**学生会議2017年実行委員会**

| プログラム |

9：30 ～　9：40	**開会挨拶**		
9：40 ～ 10：05	**研究・実践発表／ディスカッション①**	**東京学芸大学**	（小室 明久・和田 賢征）
10：10 ～ 10：35	**研究・実践発表／ディスカッション②**	**岐阜大学**	（加藤 司・山田 唯仁）
10：40 ～ 11：05	**研究・実践発表／ディスカッション③**	**武蔵野美術大学**	（肥田野 紅実）
11：10 ～ 11：40	**全体ディスカッション**		
11：40 ～ 11：45	**閉会挨拶**		

※各研究・実践発表の間には、5 分間の小休憩を設けています。